

特定非営利活動法人（役員変更（理事退任後に理事選任手続を行った場合の理事退任、就任））

理事が申請書又は委任状に印鑑を押印する場合は、登記所に提出した印鑑を押印しなければなりません。印鑑の提出は、印鑑届書により行います。この印鑑届書には、市町村長の作成した3か月以内の印鑑証明書を添付する必要があります。

なお、印鑑届書は、法務局ホームページ「商業・法人登記の申請書様式」(https://houmukyoku.moj.go.jp/homu/COMMERCE_11-1.html)に掲載していますので、御利用ください。

特定非営利活動法人変更登記申請書

1. 会社法人等番号 0000-00-000000

分かる場合に記載してください。

フリガナ ○○カイ
1. 名称 特定非営利活動法人○○会

商号のフリガナは、会社の種類を表す部分（特定非営利活動法人）を除いて、片仮名で、左に詰めて記載してください。間に空白がある場合には、空白を削除した文字をフリガナとして登録します。

1. 主たる事務所 ○県○市○町○丁目○番○号

このフリガナは、国税庁法人番号公表サイトを通じて公表されます。

1. 登記の事由 理事の変更

なお、登記事項証明書には、フリガナは表示されません。

1. 登記すべき事項

「役員に関する事項」

「資格」理事

「住所」○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」○○○○

「原因年月日」令和○年○月○日退任

「役員に関する事項」

「資格」理事

「住所」○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」○○○○

「原因年月日」令和○年○月○日退任

「役員に関する事項」

「資格」理事

「住所」○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」○○○○

「原因年月日」令和○年○月○日退任

(※ 特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する旨の定款の定めがある場合)

定款に理事長等に選定された理事のみが法人を代表する旨の定めがある場合には、当該理事長等に選定された理事のみを「理事」の資格で登記することとなります。

理事長等に選定された理事が退任し、後任の理事長等を選定した場合には、次のように記載します。

「役員に関する事項」

「資格」理事

「住所」○県○市○町○丁目○番○号

「氏名」○○○○

「原因年月日」令和〇年〇月〇日就任

(※ 理事が各自法人を代表する場合)

理事が各自法人を代表する場合には、理事全員を登記することとなります。この場合には、次のように記載します。

「役員に関する事項」
「資格」理事
「住所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
「氏名」〇〇〇〇
「原因年月日」令和〇年〇月〇日就任
「役員に関する事項」
「資格」理事
「住所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
「氏名」〇〇〇〇
「原因年月日」令和〇年〇月〇日就任
「役員に関する事項」
「資格」理事
「住所」〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
「氏名」〇〇〇〇
「原因年月日」令和〇年〇月〇日就任

1. 添付書類

社員総会議事録 1通

理事の互選書（又は理事会議事録）
1通

定款で理事を理事等により選任すると定めた場合には、理事会議事録を添付します。

特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する旨の定款の定めがあり、理事長等を理事の互選により選定した場合には、理事の互選書を添付します。なお、その内容が理事の互選を証するものである場合には、理事会の議事録でも差し支えありません。

定款 1通
就任承諾書 〇通
印鑑証明書 〇通
委任状 1通

代理人に登記申請を委任した場合のみ必要です。

上記のとおり、登記の申請をします。

令和〇年〇月〇日

代表権を有する者（資格
は理事）を記載します。理事
が各自法人を代表する法人
は、理事のうち1名の記載で
構いません。

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 (注1)
申請人 特定非営利活動法人〇〇 (注2)

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 (注3)
理事 〇〇〇〇 (印)

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 (注4)
上記代理人 〇〇〇〇 (印)

連絡先の電話番号

(注1)~(注4)にはそれ
ぞれ、以下のとおり記載し
ます。

(注1)→主たる事務所
(注2)→名称
(注3)→理事の住所
(注4)→代理人の住所

法務局に提出した印鑑を押します。

代理人が申請する場合にのみ記載し、代理人の
印鑑（認印）を押します。この場合、理事の押印
は、必要ありません。

〇〇法務局 支 局 御中
出張所

契
印

登記申請書が複数ページになる場合は各ページの綴り目に契印する必要があります。契
印は、登記申請書に押した印鑑（理事が法務局に提出した印鑑又は代理人の印鑑）と同一
の印鑑を使用する必要があります。

社員総会議事録（理事の選任方法が社員総会の決議となっている法人）

（仮理事の選任を待つことができない急迫の事情がある場合において、社員総会を開催したときの一例です。法人の実情に合わせて作成してください。）

社員総会議事録

1. 開催日時 令和〇年〇月〇日 午前〇時
1. 開催場所 当法人事務所（〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号）
1. 総社員数 〇名
1. 出席した社員数 〇名

1. 審議事項 役員の改選について

1. 議長選任の経過

定刻に至り司会者〇〇〇〇は開会を宣言し、当法人の社員総会は、理事の任期が満了し、理事が社員総会を招集することができないが、本日の社員総会は、仮理事の選任を待つことができない急迫の事情があるため、すなわち、仮理事選任手続を了するまで社員総会において理事の選任ができない状態が続くとすれば、当法人はもとより、当法人が行う〇〇活動の利用者その他の第三者に著しい支障及び不利益が生ずるおそれが顕著であるため、〇〇〇〇が招集し、開催したこと並びに定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって〇〇〇〇が議長に選任された。続いて、議長から挨拶の後、議案の審議に入った。

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

議案 役員任期満了による改選の件

議長は、理事〇〇〇〇、同〇〇〇〇及び同〇〇〇〇並びに監事〇〇〇〇が任期満了につき、その改選方を議場に諮ったところ、満場一致をもって、次の者が理事及び監事に選任され、被選任者は、いずれも、その就任を承諾した。

- 理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）
理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）
理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）
監事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選任された。

- 議事録署名人 〇〇〇〇
同 〇〇〇〇

以上をもって社員総会の議案全部の審議を終了したので、議長は、閉会を宣言し、午後〇時〇分散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において、次に記名押印する。

令和〇年〇月〇日

特定非営利活動法人〇〇

社員総会において

議 長 ○○○○ ⑩

議事録署名人 ○○○○ ⑩

同 ○○○○ ⑩

(注) 1 社員総会の席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。

この場合は、申請書には、「就任承諾書は、社員総会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

2 理事が各自法人を代表する場合には、社員総会議事録に押印した全員の印鑑につき市町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。ただし、重任した理事が法務局に印鑑を提出している場合において、同議事録に該当印鑑を押印しているときは、印鑑証明書の添付は必要ありません。

3 全ての理事が退任した後は、定款に特段の定めのない限り、社員総会を招集できる者がいないため、所轄庁に仮理事の選任を求め、当該仮理事が社員総会を招集し、理事を選任することとなります。

仮理事の選任を待つことができない急迫の事情がある場合には、当該急迫の事情がある旨を基礎付ける具体的な事由を議事録に記載する必要があります。本議事録はその場合の一例を示したものですので、具体的な事由は実態に即して記載してください。

理事会議事録（理事の選任方法が理事会の決議となっている法人）

（仮理事の選任を待つことができない急迫の事情がある場合において、理事会を開催したときの一例です。
法人の実情に合わせて作成してください。）

理事会議事録

1. 開催日時 令和〇年〇月〇日 午前〇時
1. 開催場所 当法人事務所（〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号）
1. 理事総数 3名
1. 出席理事数 3名（〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇）

1. 審議事項 役員の改選について

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

定款の規定により理事長〇〇〇〇が議長に就任し、当法人の理事会は、理事の任期が満了し、開催することができないが、本日の理事会は、仮理事の選任を待つことができない急迫の事情があるため、すなわち、仮理事選任手続を了するまで理事会において理事の選任ができない状態が続くとすれば、当法人はもとより、当法人が行う〇〇活動の利用者その他の第三者に著しい支障及び不利益が生ずるおそれが顕著であるために開催したことを告げ、直ちに議案の審議に入る。

第1号議案 役員任期満了による改選の件

議長は、理事〇〇〇〇、同〇〇〇〇及び同〇〇〇〇並びに監事〇〇〇〇が任期満了につき、その改選方を議場に諮ったところ、満場一致をもって、次の者が理事及び監事に選任され、被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）

理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）

理事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）

監事 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇（再任）

第2号議案 理事長の互選の件

議長は、理事長の互選が必要な旨を述べ、協議した結果、全員一致をもって理事長を〇〇〇〇（〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号）と決定した。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選任された。

議事録署名人 〇〇〇〇

同 〇〇〇〇

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午前〇〇時〇〇分閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が記名押印する。

令和〇年〇月〇日

特定非営利活動法人〇〇

議長理事長 ○○○○ ⑩

議事録署名人 ○○○○ ⑩

同 ○○○○ ⑩

(注) 1 理事会の席上で被選任者が就任を承諾し、その旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。

この場合は、申請書には、「就任承諾書は、理事会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

2 理事が各自法人を代表する場合には、理事会議事録に押印した者全員の印鑑につき市町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。ただし、重任した理事が法務局に印鑑を提出している者である場合において、同議事録に当該印鑑を押印しているときは、印鑑証明書の添付は必要はありません。

3 全ての理事が退任した後は、理事会により理事を選任することができないため、所轄庁に仮理事の選任を求め、当該仮理事が理事を選任することとなります（又は社員総会の決議により理事の選任方法を変更し、当該選任方法によって理事を選任することとなります。）。

仮理事の選任を待つことができない急迫の事情がある場合には、当該急迫の事情がある旨を基礎付ける具体的な事由を議事録に記載する必要があります。本議事録はその場合の一例を示したものですので、具体的な事由は実態に即して記載してください。

理事の互選書の例

特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する旨の定款の定めがあり、定款の定めに基づき、理事長等を理事の互選により選定した場合に添付します。

理 事 の 互 選 書

令和〇年〇月〇日午前〇時〇分から、〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号（当法人会議）室において、定款第〇〇条の規定に基づき理事長を選定するため、理事全員の互選の結果、次のとおり決定した。

1. 理事長に理事〇〇〇〇（〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号）を選定すること。
なお、被選定者は、その就任を承諾した。

（注）上記の例のように、理事の互選の場で理事長に選定された理事がその就任を承諾し、その旨の記載が互選書にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。

この場合、申請書には、「就任承諾書は、理事の互選書の記載を援用する。」と記載してください。

上記決定を明確にするため、本互選書を作成し、理事全員が次に記名押印する。

令和〇年〇月〇日

特定非営利活動法人〇〇

理 事 〇〇〇〇 印

理 事 〇〇〇〇 印

（注）特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する場合には、互選によって選定したことを証する書面（以下「互選書」という。）に押印した理事全員の印鑑につき市町村長が作成した印鑑証明書を添付することが必要です。ただし、重任した理事が法務局に印鑑を提出している場合において、互選書に当該印鑑を押印しているときは、印鑑証明書の添付は必要はありません。

理事会議事録の例

特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する旨の定款の定めがあり、定款の定めに基づき、理事長等を理事の互選の実質を備えた理事会で選定した場合に添付します。

理事会議事録

1. 開催日時 令和〇年〇月〇日 午前〇時
1. 開催場所 当法人事務所（〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号）
1. 理事総数 3名
1. 出席理事数 3名（〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇）
1. 審議事項 理事長の選定について

1. 議事の経過の概要及び議決の結果

上記のとおり理事全員が出席したので、理事〇〇〇〇が選ばれて議長となり、議長席に着き、議案の審議に入った。

議案 理事長選定の件

議長は、定款第〇〇条の規定に基づき、理事長1名を選定したい旨を述べ、議場に諮ったところ、全員一致をもって、下記の者が選定された。なお、被選定者は、その就任を承諾した。

理事長 〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇

(注) 上記の例のように、理事会の席上で理事長に選定された理事がその就任を承諾し、その旨の記載が議事録にある場合には、申請書に、別途、就任承諾書を添付する必要はありません。

この場合、申請書には、「就任承諾書は、理事会議事録の記載を援用する。」と記載してください。

1. 議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選定された。

議事録署名人 〇〇〇〇

同 〇〇〇〇

議長は、以上をもって本日の議案の審議を全て終了した旨を述べ、午前〇〇時〇〇分閉会した。

以上の議事の経過の概要及び議決の結果を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が記名押印する。

令和〇年〇月〇日

特定非営利活動法人〇〇理事会

議長 〇〇〇〇 印

議事録署名人 〇〇〇〇 印

同 〇〇〇〇 印

(注) 特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する場合には、理事長等を選定した理事会議事録に押印した全員の印鑑につき市町村長の作成した印鑑証明書を添付しなければなりません。

ただし、重任した理事が法務局に印鑑を提出している場合において、同議事録に当該印鑑を押印しているときは、印鑑証明書の添付は必要ありません。

就任承諾書の例（特定の理事（理事長等）のみが法人を代表する場合）

(1) 理事としての就任承諾書

理事長等に選定された理事についての理事に就任することについての承諾書を添付します。

<p>就任承諾書</p> <p>私は、令和〇年〇月〇日開催の貴法人社員総会において、貴法人の理事に選任されたので、その就任を承諾します。</p> <p>令和〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: right;">〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇</p> <p style="text-align: center;">特定非営利活動法人〇〇 御中</p>

(2) 理事長としての就任承諾書

理事長等に選定された理事についての理事長に就任することについての承諾書を添付します。

<p>就任承諾書</p> <p>私は、令和〇年〇月〇日の理事の互選（又は令和〇年〇月〇日開催の貴法人理事会）において、貴法人の理事長に選定されたので、その就任を承諾します。</p> <p>令和〇年〇月〇日</p> <p style="text-align: right;">〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号 〇〇〇〇</p> <p style="text-align: center;">特定非営利活動法人〇〇 御中</p>

就任承諾書の例（理事が各自法人を代表する場合）

理事全員の就任承諾書を添付します。

就任承諾書

私は、令和〇年〇月〇日開催の貴法人社員総会において、貴法人の理事に選任されたので、その就任を承諾します。

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇

特定非営利活動法人〇〇 御中

委任状の例

委任状

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
〇〇〇〇

私は、上記の者を代理人に定め、次の権限を委任する。

- 1 当法人の理事の変更登記の申請をすること。
- 1 原本還付の請求及び受領の件（注1）

令和〇年〇月〇日

〇県〇市〇町〇丁目〇番〇号
特定非営利活動法人〇〇
理 事 〇〇〇〇

印（注2）

- （注） 1 原本還付の請求をする場合に記載します。
2 当該理事が法務局に提出している印鑑を押します。